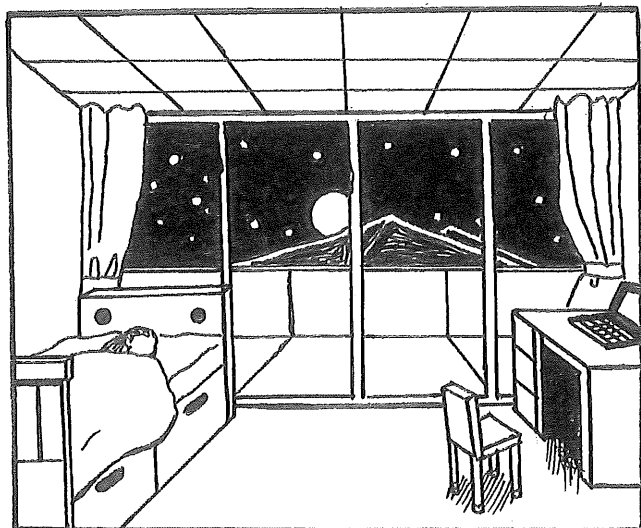


旅立ち

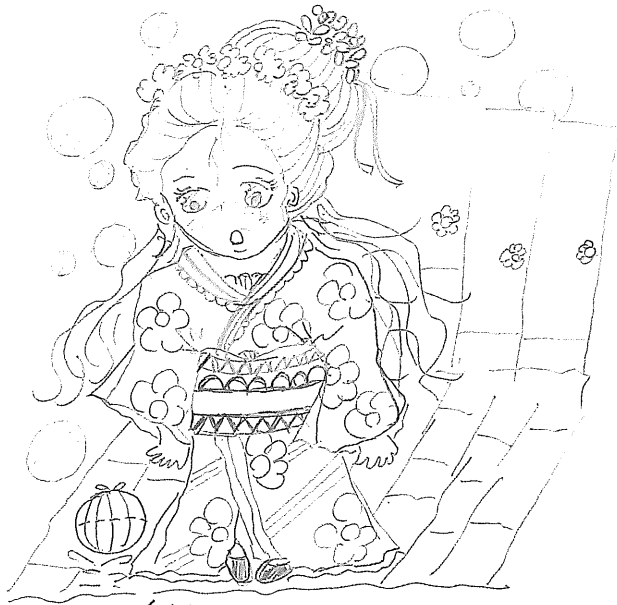
社会福祉法人しらとり会
利用者通信 (NO. 76)
令和4(2022)年1月4日発行

今月は、5名の方からの投稿です。



精神科に入院するということ(1)

僕はマザコンで52歳まで、母と同居してた。8050問題である。メンタルもとても弱く、暴力をふるっては他人様にごくたまに迷惑をかけていた。転機は2012年統合失調症昏迷状態、そして誤えん性肺炎となって、賀茂精神医療センターから呉医療センター9A病棟に救急車で送られた。あの時は、何も考えてなく意識もなく危うく、50歳で死ぬ所だった。自分の体重が何kgになったかを知らずに、後で退院してから、測ったら79kgが47kgまで落ちていた。(Y.Y.)



黒田美鈴



- 商売には差別化をはかる事が極めて重要だが経営学部や経済学部で教えられた同じ理論に基づいて経営してどうやって差別化をはかるのか？
- 皆が同じ理論で同じ差別化して利益が少なくなると権力者が困る。
- 財務省、経済産業省、国税庁、金融機関の策略で利益分散で数で商売している。
- 日本政府がくだらない経済政策をするはずだ。
- できる者ができない者と仲良くすると景気が悪くなる。
- 我々障害者の生活費が出ないという事だ。
- 安心と安全どちらをとるのか？
- 福祉職の嘘に惑わされるな！
- できるしかない。

(加藤忠男)

【投稿の募集】

読んでいただいた方からのご感想をお寄せください。また、利用者の皆様からの投稿をお待ちしています。

次回の締切は、1月14日(金)です。

『旅立ち』編集委員：加藤、本川、A.-Z.、H.A.